



役員の皆さんにとっては、1年間の活動の締めくくりの時期になりました。閉級式を残すのみという園・学校もあります。そこで、この閉級式で改めて家庭教育の大切さを感じていただき、1年の締めくくりにはふさわしい内容になるよう、ひと工夫してみませんか。

1. 今年度のテーマや役員の願いを確認しよう!

(例) 今年度の家庭教育学級は、「楽しく学び 絆を深めよう!」をテーマに活動してきました。このテーマには、みんなで楽しく学ぶことで、保護者同士のつながりをもっと深めたい!という願いが込められています。一人でも多くの方に参加していただけるように、内容や日程を考えながら、5回の家庭教育学級を開催しました。

2. 今年度の実践を振り返り、良かったことや工夫したことを伝えよう!

(例) 第1回目は___、第2回目は___、
…今年度開催した全ての講座を紹介しましょう。

- ★実施日、内容、講師、参加者の感想など、「行って良かった!」「行けば良かった!」と思ってもらえるような伝え方ができると良いですね。
- ★役員さんで役割分担して振り返るのも良いですね。

第1回目は6月14日金曜日に、講師の〇〇先生をお招きして、「子どもの笑顔のために親ができること」をテーマに講演会を開催しました。参観日に合わせて開催したこともあって、たくさんの方に参加していただきました。先生のユーモアを交えたお話に、「気持ちが軽くなった!」という感想もありました。講話の後、短い時間でしたが、近くの方と感想交流をしました。違う学年の方ともすぐに打ち解けてお話いただき交流の輪が広がりました。また、講師の先生への質問タイムでは、悩んでいることに直接アドバイスをいただくことができ、学びいっぱいの会になりました。

3. 感謝の気持ちを伝えよう!

- ★参加してくださった皆さんに、一緒に学べたこと、協力してもらったことへのお礼を伝えられると良いですね。会場準備や片づけ、都合をつけ参加して下さり嬉しかったことなど、様々なことに思いを巡らせ感謝の気持ちを伝えましょう。多くの方の協力や支えがあって1年間の家庭教育学級を終了することができます。

4. 役員としての感想や思いを話そう!

- ★1年間を振り返り、役員としての感想を話しましょう。役員を引き受けた時の気持ちや、閉級式を迎える今の気持ちを話してください。学級長さんだけでなく、役員さんたちの感想も語っていただくと良いですね。実際に頑張ってくださった役員さんの言葉は、皆さんの心に響き、次の役員さんの励みになります。

閉級式も子育てサロン型で!

〈子育てサロン型を入れた閉級式プログラム〉

1. 校長先生のお話 (担当の先生のお話)
2. 学級長あいさつ
3. 子育てサロン会 (小グループ交流)
 - *心に残った取組について
 - *来年度取り入れてほしい講座
4. 副学級長あいさつ

意見を出しやすい温かい雰囲気づくり

★グループの作り方にひと工夫(4・5人がベスト)

- ・受付でグループ番号のくじを引き着席。
- ・子育てサロン会の始まりに、緊張をほぐすアイスブレイク「パースデーチェーン」(ジェスチャー等で誕生日順に並ぶ)を入れ、前から順番に4人ずつの小グループを作る。

閉級式で今年度の家庭教育学級は終了です。来年度の活動につながる有意義な式になることを願っています。



☆バックナンバーは「中濃県事務所HP」からダウンロードできます。

令和2年 1月発行
中濃県事務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育担当: 後藤
〒501-3756 美濃市生櫛 1612-2
TEL: 0575-33-4011 内線 210
E-mail: q01656@govt.pref.gifu.jp

2020年が皆様にとりまして、良い年となりますようお祈りいたします。

今年度もあと3カ月となりました。学級役員様には、次年度の引継ぎまでお世話になりますがどうぞよろしくお祈りいたします。

今月号では、秋から冬にかけて各市の学級・園・学校等で開催された取組紹介と閉級式について特集しました。



社会福祉法人 円徳児童福祉会 郡上市 まどか保育園

令和元年 10月9日(水)開催

「親子で人形劇を観よう」 B:体験活動参加型

テレビ等でお話を見ることには慣れていても、生の劇を観る機会は少ないということから、親子観劇会を企画されました。毎日過ごしている遊戯室の中に劇のセットが組み、軽快な音楽で劇が始まると、子ども達や保護者の皆さんの表情も輝いて見えました。子ども達が一緒に歌ったり、マジックショーに参加したりするいきいきとした姿も保護者に見てもらえて、良い時間になったと振り返られています。



人形劇に見入る園児と親子の皆さん

〈講師〉 くりくりワールド

〈主催者の願い〉 本物の人形劇を観る機会がほとんどない今の子ども達にとって、目の前で演じている生の劇を観て楽しみ、心が動かされる時間になってほしい、またそれを親子で共有してほしい。

【保護者の感想(一部抜粋)】

- ・子どもが笑ったり、真剣に観る姿を見られたりして、成長を感じた。
- ・帰ってから、「ここが面白かった」という話を親子でできて、子どもとのふれ合いのきっかけになった。家で手品を真似して見せてくれたのも楽しかった。
- ・小さい子を連れてきていると、飽きたり大声を出したりするのではないかと心配したが、遊ぶ部屋が設けられていたので安心して連れてくることができた。

※学びポイント※

- 〈保護者が安心して参加できる配慮〉
- ・隣接した部屋を開放して、下の子を遊ばせながら劇を観ることができるようにされたこと。
- 〈親子体験活動で子どもの成長に気づく〉
- ・わが子の様子を近くで見たり、劇の感想を伝え合ったりすることができ、子どもの成長を感じられた感想が寄せられたこと。

「COOL CHOICE(=賢い選択)」で家族団らんの時間を!

岐阜県では、国民運動「COOL CHOICE(=賢い選択)」に賛同し、地球温暖化対策を推進しています。この普及啓発活動として、寒い冬に温かく快適に過ごすことができる施設や場所を登録し、その利用を促す活動をしています。

「家族やご近所どうしが一つの部屋・場所に集まって過ごせば、エネルギー消費を減らせるだけでなく、コミュニケーションも深まります。(環境省HPより)」家族団らんの時間が、地球温暖化対策になり、家族の絆を深めます。この冬「家族でウォームシェアを」してみませんか。



郡上市 和良乳幼児学級

令和元年 9月11日(水) 開催

「シニアクラブと合同ミニ運動会・子育てクイズ」

B:体験活動参加型 + D:子育てサロン型

和良乳幼児学級では、例年シニアクラブとの交流を企画されているそうです。講師の服部さんの進行で、円座での自己紹介の後、全員が赤組・白組に分かれ、ミニ運動会が始まりました。役員さんが考えられた種目で大いに盛り上がりました。運動の後は、お茶を飲みながらの交流会でした。「世代で常識が違う子育てクイズ」では、解答に驚きの声も!?世代を超えた笑顔いっぱいの交流会になりました。

〈講師〉 郡上市教育委員会 社会教育課 服部 敦子氏
〈主催者の願い〉

乳幼児学級とシニアクラブとの合同運動会・交流会を通して、子どもを地域ぐるみで守っていくための交流の機会にしたい。

【保護者の感想(一部抜粋)】

- ・普段交流できないシニアの方とふれ合うことができ、子どもに優しく接してくれたり、抱っこしてもらえたりして、良い機会になった。
- ・一緒に運動したことで自然とふれ合い、チーム分けしたことで競い合い熱中できた。
- ・少しでも顔見知りが増えることで、地域での子育てがしやすくなって良かった。

＊学びポイント＊

- 〈地域ぐるみで子どもを育てる〉
- ・毎年シニアクラブとの交流会を位置けられ、地域で子どもを育てようという願いが受け継がれていること。
- 〈活動を組み合わせて交流を深める〉
- ・合同ミニ運動会と子育てクイズを組み合わせることで、交流の場面が広がり、楽しく交流を深める機会にされたこと。



玉入れとバスタオルリレーの様子



「岐阜県家庭教育支援条例」平成26年 条例第83号【祖父母の役割】より

第7条 子どもの祖父母は、家庭教育力の低下を補うため、保護者と協力しながら、家庭教育に積極的に協力するよう努めるものとする。

関市立田原保育園

令和元年 9月6日(金) 開催

「おじいちゃん おばあちゃんとふれ合い、一緒に楽しもう」

A:園行事参加型 + B:体験活動参加型

毎年この時期に祖父母との交流の機会を設けられているそうです。園では幼児期に、特に愛着関係を築く肌と肌とのふれ合い(スキンシップ)を大切にされ、当日は、祖父母(または保護者)とお子さんがペアになり、ふれ合いながら様々な動きにチャレンジしました。園長先生は、ご家庭でもぜひ楽しく取り組んでみてくださいと話されました。

〈講師〉 小池 久司氏 (Ohana Sports)

〈主催者の願い〉

日頃、ゆっくり関わる機会が少ないおじいちゃんおばあちゃんと、体に負担なくいつでもどこでも楽しめるようなふれ合い遊びをする機会にしたい。

【保護者の感想(一部抜粋)】

- ・孫と一緒に体を動かし、とても楽しかった。
- ・色々な体の力につながるとは知らなかった。また、こういう機会があると良い。
- ・体に無理なく、いつでもどこでもすぐにでき、家でもやってみようと思う。



＊学びポイント＊

- 〈事前の打ち合わせでスムーズな活動へ〉
- ・発達に合わせた活動内容、時間(1クラス20分で交代)等を事前に講師と密に打ち合わせられ、スムーズな流れで、時間いっぱい活動されていたこと。
- 〈活動を組み合わせて参加を促す工夫〉
- ・保護者や祖父母が、一日の中で様々な活動の様子を見ることができるよう活動を組み合わせて開催されたこと。



おみごと! 立てました!



郡上市立白鳥小学校

令和元年 9月27日(金) 開催

「食育指導・給食試食会」

B:体験活動参加型

6年生が修学旅行の機会に併せて(6年生の食器を活用)、1年生親子の給食試食会を開催されているそうです。「今の学校給食を食べてみたいと、ずっと思っていたが、今回、夢が実現して嬉しかった。」という、児童の祖母からの感想もありました。子どもの体と食の関係について学び、親子一緒に給食をいただく貴重な機会にされました。

〈講師〉 金森 恵美子 氏 (栄養教諭)

〈主催者の願い〉

食育指導と給食試食会を開催し、食育について学び、学校給食について理解していただく。また、親子が隣同士に座って食べることでお子さんの様子を見ていただける機会にしたい。

〈受付をされる役員さん〉



親子で試食されている様子

【保護者の感想(一部抜粋)】

- ・学校の給食を食べる機会はなかなかないので、とても良い体験、勉強になった。自宅でも、地元の食材を使ったり、バランスをもっと考えたりして食べさせていきたいと思った。おいしい給食をありがとうございました。食べることができることに感謝、それも子どもにしっかり教えたい。
- ・なかなかゆっくり一緒に食べてあげられないからか、楽しそうに食べて、いろいろ教えてくれる姿が見られて良かった。家でもゆっくり食べる時間を作ろうと思う。

＊学びポイント＊

- 〈活動を組み合わせた開催の工夫〉
- ・食育や給食について講師から学んだことを、給食の実食を通してより理解する機会にされたこと。
- 〈親子体験活動で子どもの成長に気づく〉
- ・試食会に親子の隣席を工夫されたことで、普段見ることができないわが子の様子から成長に気づく機会にされたこと。

「かてきょー」79号 2

郡上市立明宝小学校

令和元年 10月18日(金) 開催

「おなかの元気教室」

A:学校行事参加型 + B:体験活動参加型

4人が手を広げて6mの小腸の長さを体験

食べたものが、自分の体の中をどう通っていくのかを、エプロンシアターや、クイズ等で楽しく学ばれました。「うんちは健康のバロメーター」と感じられた保護者の感想もありました。事後アンケート「おなかの働きについて楽しく学べましたか?おなかの健康・生活習慣について親子で話しましたか?」との問いに、全員が「はい」と回答されていることから、活動の願いが達成できたのではないかと学級長さんは振り返られています。

〈講師〉 下條 ルミ氏 (岐阜ヤクルト販売株式会社)

〈主催者の願い〉

親子で楽しみながらお腹の働きについて学ぶことを通して、食習慣について考えたり、話し合ったりする機会にしてほしい。



隣に座り、話し合いながら学ぶ親子の皆さん



〈学級長さんあいさつ〉

【保護者の感想(一部抜粋)】

- ・毎朝トイレに座る習慣がまず大切だということが分かった。野菜をたくさん食べることも親子で意識しようと話げできた。
- ・一人でトイレに行けるようになってから、子どものうんちの様子を知らないことに気づいた。健康状態を知るためにも、時々話してみようと思った。
- ・おなかの健康のための約束を親子で気をつけようと言った。

＊学びポイント＊

- 〈学校行事と併せて開催〉
- ・参観日に開催し、保護者の来校回数が増えないように配慮されたこと。
- 〈学びを振り返る事後アンケートの工夫〉
- ・学習内容に応じた事後アンケートをされ、参加者は活動を振り返ることができ、主催者は参加者の率直な感想を把握されたこと。

「かてきょー」79号 3